



広報 矢島

3月

平成 14 年第 5 5 1 号

編成・発行／矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町 20 TEL 0184-55-4952
印刷／高清館印刷所 FAX 0184-55-2157
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



市町村合併フォーラム開催！！

2月16日(土)日新館において市町村合併フォーラムが開催されました。来場された約200名の町民の方々は熱心にペンを片手に聴講されておりました。
(関連記事2〜4ページ)



今月の主な内容

P 2・3 市町村合併
P 5 臨時職員募集
P 10 ほけんだより

P 4 フォーラム・アンケート結果
P 6・7 まちの話題
P 12・13 情報ひろば

一緒に考えよう 矢島町の未来 ②



市町村合併について先月より3回シリーズでお知らせしております。今回は市町村合併の基本的な考え方、合併論議背景を掲載しましたが、今回は国の方針や支援策などについて掲載します。

また、2月16日（土）日新館で行われた「市町村合併フォーラム」でのアンケートにより町民の皆様から意見をいただきましたので一部を紹介し、今後の対応に役立てていきたいと考えております。

国の方針と市町村合併に対する支援策

合併をするのはいつでもできますが、合併に対する各種の支援措置は合併特例法の期限である平成17年3月末日までしか現段階では保障されておられません。

財政措置

一、合併特例債の創設

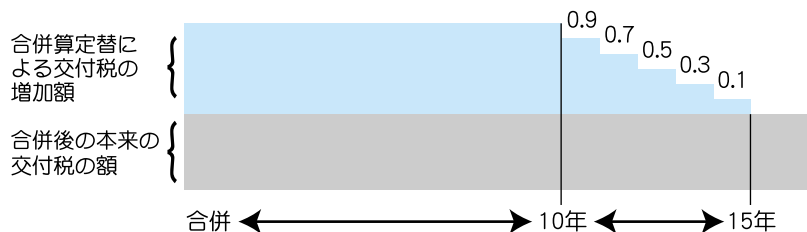
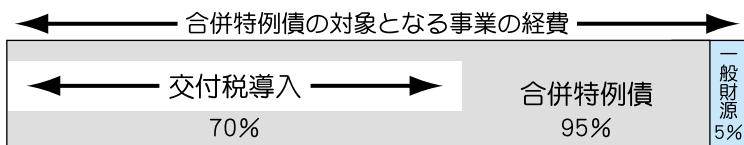
合併年度とそれに続く10か年度は、まちづくりのための建設事業や地域振興のための基金造成の経費に対して地方債（合併特例債）を起すことが認められています。この合併特例債は充当率が95%で、その元利償還金の最大70%は後年度の普通交付税に算入されることになっています。

二、普通交付税算定の特例

合併年度とそれに続く10か年度は、合併した市町村が合併前の市町村区域で算定され、以前の普通交付税額を下げ、以前に普通交付税額を下げ、以前に普通交付税額を下回らないように新市町村の普通交付税額を算定します。さらにその後5か年度かけて段階的な縮減を行い、本来の普通交付税の算定を行うことになっていきます。

三、合併直後の臨時的経費に対する普通交付税措置

合併直後に必要となる臨時的経費に相当する額を普通交付税額に加算し、5か年度にわたり分割して算入することになっています。



四、その他の経費に特別交付税が措置されます

- ① 合併協議会への負担金、合併に向けての準備経費
- ② 電算システム統一等の合併移行経費
- ③ 合併を機に行うコミュニティー施設整備、総合交通計画策定に係る経費
- ④ 公共料金格差是正に要する経費
- ⑤ 公債費負担格差是正に要する経費
- ⑥ 土地開発公社の経営健全化に要する経費

財政措置以外の支援措置

- 一、「市」となる要件の特例措置
- 三、議会議員の退職年金に関する特例

従来の「市」の全域を含む合併については、無条件で「市」となることができます。従来の「市」を含まない場合でも市となる人口要件が「4万人以上」に緩和されています。（平成16年3月31日まで合併された場合は「3万人以上」に緩和）

二、市町村議会議員の在任特例

合併後の一定期間、旧市町村の議員がそのまま合併後の新市町村の議員を在任することができず。（合併後2年以内の期間引き続き在任できません。）

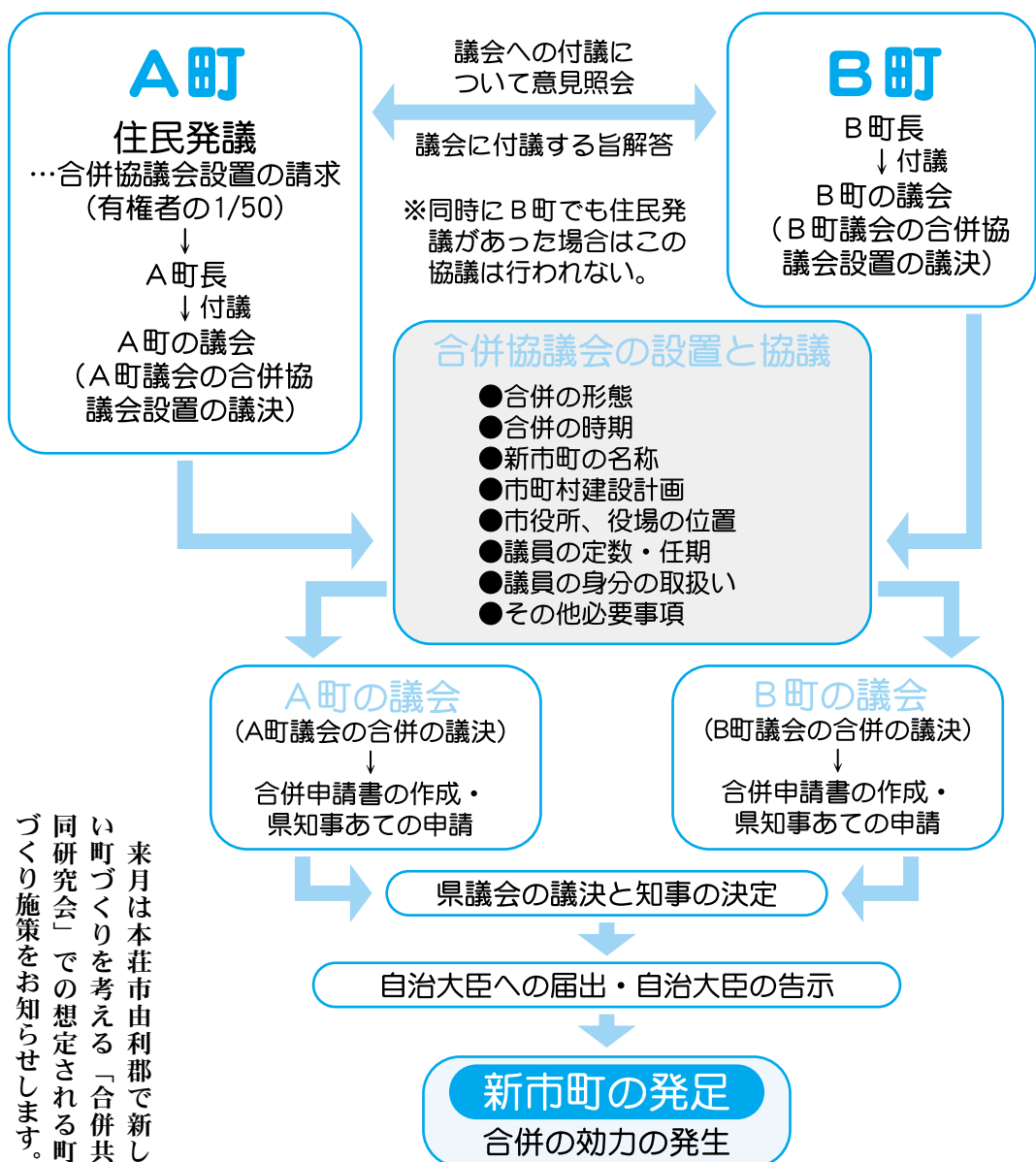
合併がなければ退職年金の在職期間の要件（在職12年以上）を満たすことになる者は、当該要件を満たしているとなされず。

四、地方税に関する特例

合併した年度とそれに続く3か年度は合併市町村間での財産（資産）や負債（借金）の額又は地方税の課税に関する差異を考慮して、旧市町村での課税を行うことができます。

合併はこうしてすすむ

合併の手続きは、住民の皆さんからの発議による場合と関係市町村長の発議による場合があります。（例 A町で住民発議があった場合）



来月は本荘市由利郡で新しい町づくりを考える「合併共同研究会」での想定される町づくり施策をお知らせします。

50年後、100年後を考え

市町村合併フォーラム

2月16日(土)、日新館において町民約200名の参加のもと市町村合併フォーラムが開催されました。

矢島町は明治22年から現在まで合併をせず独立独歩の町として歩んできておりますが、近年の市町村合併論議は矢島町でも避けては通れない問題であります。そこで今回全国市町村の情勢にも詳しい専修大学法学部教授の小林弘和氏を講師に招き、「本音で語る！市町村合併」と題して基調講演をいただきました。



講師の小林 弘和氏

講演では合併した場合のメリット・デメリット、また、現在在国で考えられている方針などの話があり、市町村にとっては厳しい現状の話をお音で語っていただきました。



合併について質問する茂木さん(上新荘)

メリット

- ・ 効率的な行政運営の推進
- ・ 行政ニーズ多様化へのサービスの提供等

デメリット

- ・ 住民に密着してのサービスの低下
- ・ 地域の声が届きにくくなる
- ・ 地域間対立の激化

また、市町村合併は5、10年後を考えて行なうのではなく、50、100年後を見据えて行なうものである。地域づくり、町づくりと同じく考えていかなければなりませんと話され講演が終了しました。

市町村合併フォーラムでの町民の皆様の意見

・ 今回のような町民との対話の時間をつくり、今後も具体的な議論の場がほしい。
集落ごとの説明会や協議会等をしてほしい。
(50歳代 男性) 他多数

・ このようなフォーラムにもっと若い人達(20代、40代)が多数きてほしい。平日夜の開催など考えてほしい。
(30歳代 女性)

・ 出来れば合併はしたくないが、国の現状を考えると仕方がない。
(60歳代以上 男性)

・ 町の現状である人口減を考えると合併は仕方ないと思います。
(30歳代 女性)

・ 合併は避けて通れないと思われるので、町も具体的な議論に入るべき。国や地方の財政は待ったなしの状況である。ただ、今の合併特例法はメリットだけを強調しすぎている。
(30歳代 男性)

・ 町民と行政間が遠くなるのではないかと思います。
農協の合併はそうようになりました。
(60歳代以上 男性)

・ 出来れば合併はさけないのですが、現状を考えるとどうも言ってられない問題だと思いません。住民に不利益にならないように出来たらいい。
(20歳代 女性)

・ 各市町村成立の歴史があり、その市町村の精神と特有な働きをしてきている。その点が合併によって失われる事が心配。
(60歳代以上 男性)

・ 今回の講演を伺い、合併に向けての学習会を重ねて、住民が主役になる「合併推進会」をつくり前向きに考えていかなければならないと考えます。
(50歳代 女性)

・ 本荘市由利郡の町行政上の問題点(財政、施設、負債)等を数的に提示され、合併後の問題点など情報を知りたい。町議会の方々の合併に対するご意見・町民からの合併アンケートの内容、又、町職員(管理職)一人一人の意見をもっと知らせていただきたいと考えます。
(60歳代以上 男性)

矢島町臨時職員募集

	役場臨時職員		中学校校務員	ワークセンター職員
勤務内容	行政事務補助	国民健康保険 レセプト点検事務	中学校校務員	緊急雇用対策 事業事務補助
募集人員	若干名	2名	1名	1名
勤務先	矢島町役場		矢島中学校	矢島町役場
応募資格	矢島町在住で おおむね45歳まで	矢島町在住で おおむね55歳まで	矢島町在住でおおむね45歳まで (普通免許要)	
勤務日及び勤務時間	8:30~17:15 (土日祝祭日を除く)	毎月10日間勤務 8:30~17:15 (土日祝祭日を除く)	7:55~16:40 (土日祝祭日を除く)	8:30~17:15 (土日祝祭日を除く)
雇用期間	14年4月1日~ 14年9月30日(最長6 ヶ月更新の場合あり)	14年4月1日~ 15年3月31日	14年4月1日~ 14年9月30日 (規定により更新あり)	14年4月1日~ 14年9月30日 (要綱により更新あり)
賃金・その他	役場臨時筆耕 任用規定	役場臨時筆耕任用規定 (採用後に実務の研修 期間あり)	役場臨時的任用職員 任用管理規定	ワークセンター 要綱による
加入保険	社会保険・雇用保険	無	社会保険・雇用保険	
申込み方法	所定の申込書・履歴書に自筆記入(申込用紙は役場総務課にあります)			
申込み期日	平成14年3月11日			
提出先	矢島町役場総務課			
採用方法	書類審査選考及び面接試験にて決定			
問い合わせ先	矢島町役場総務課 TEL55-4951			

※ワークセンター臨時職員募集については後日、広報・チラシ等でお知らせいたします。

長年の功績を称え

県ソフトボール協会功労賞受賞

この度、秋田県ソフトボール協会創立50周年記念式典が行われ、矢島町ソフトボール協会初代会長大場重夫氏(栄町)が昭和48年~平成10年まで会長として、ソフトボール普及の功績が認められ、秋田県ソフトボール協会会長(吉田久男氏)より功労賞を受賞されました。

今回の受賞を心よりお喜び申し上げると共に、今後の、更なるご活躍をご期待申し上げます。



受賞された大場重夫氏

交通安全運動に対する功績を称え 交通栄誉章緑十字金章を受賞

先に東京都・日比谷公開堂を会場とし開催された第42回交通安全国民運動中央大会において、矢島地区交通安全協会長の須田二郎氏(大川原)が長年の交通安全運動に対する功績が認められ、警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名による交通栄誉章緑十字金章を受賞されました。

これは、交通安全運動にたずさわる者が頂くことができ各種表彰の中でも最高とされるものであり、誠に慶ばしい限りです。

須田氏は、昭和37年に矢島地区交通安全協会矢島支部の理事に就任され、以来交通安全団体の要職を歴任され、昭和52年に矢島地区交通安全協会の会長に就任されました。協会会長就任より今日まで矢島地区住民の交通安全思想の普及啓蒙にご尽力されております。

今回の受賞を心よりお喜び申し上げます。今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。



受賞された須田二郎氏

まちの話題

冬まつり 雪像コンテスト

2月9日(土)、駅前広場を会場に「雪像コンテスト」が開催されました。雪像コンテストは、昨年から住民参画イベントとして位置付け21プラス1が企画し、今回が2回目の開催となりました。

今年は、昨年より半数の出品となりましたが、小学校、中学校、一般から7グループが参加しました。製作期間を5日間設けておりましたが、期間中は雨が降ったり荒天がつづき、参加者は雪像製作にひと苦労しておりました。



雪像コンテストに出品された力作

また、一般では昨年も大きな雪だるまで話題となったサトー工業グループが、「子供たちが遊べる雪像を」と大きなすべり台を製作し、当日、会場訪れた子供たちに喜ばれておりました。

21プラス1では、「来年も住民に幅広くPRして開催していきたい」と意気込んでおりました。

審査の結果

最優秀賞

矢島中学3年生有志「自主敬愛」

優秀賞

中学校ソフト部「一雪入魂」

中学校テニス部「トトロ」

小学校バレースポ少「ドラだるま」

賑わう会場に3万人

★丸亀市縁の地物産展に出店★

2月10日(日)、香川県丸亀市において、丸亀市と縁のある全国の市町村の物産展が開催されました。

丸亀市と矢島町の関係は、生駒氏の初代親正が丸亀城を築き、城下町としての礎をつくり発展させましたが、4代高俊の寛永17年(一六四〇年)に生駒騒動により高松より矢島に移封され、その後矢島藩主として230年余矢島を治めました。

今回丸亀市の競艇場を会場に第1回として開催され、当日は約3万人の人数があり、各店とも売り切れの品が続出しておりました。



矢島町の前々で来た
お客さまの長蛇の列



会場に出品した
矢島町の特産品



矢島町からは、特産品として地酒、ミルシユ、虎の子まんじゅう、あきたこまち、きりたんぼ、ジャージー牛乳等を出品しましたが全て完売することができました。特に今回の試みとして、雪だるまを作りジャージーアイス、牛乳とのセットで販売しましたが100セットを完売し、子どもたちに喜んでいただきました。

今後、丸亀市とはこれを機に交流を深めていきたいと考えております。

まちの話題

「ミルシュ」 農林水産大臣賞を受賞

地域の特産品を生かした食品を表彰する「優良ふるさと食品コンクール」で発泡酒「ミルシュ」が国産畜水産品利用部門の農林水産大臣賞に輝きました。

ミルシュは矢島町の特産品の一つであるジャージー牛乳が原料に使用されており、豊富なビタミンやカルシウム、ミネラルを含み低脂肪、低アルコールなシャンパン型の女性に人気があるお酒です。

矢島町の特産品として5年がかりで開発され、一九九七年に完成しております。

牛乳を発酵させて発泡酒を作る技術は当時、全国でも初めて。今回のコンクールでも「牛乳をアルコールにするというアイデアが革新」と高く評価されての受賞となりました。



農林水産大臣賞を受賞した
「ミルシュ」

悪天候もなんのその 秋田県スポーツ少年団スキー交流会



入賞された選手たち

1月27日(日)、鳥海高原矢島スキー場において、第4回秋田県スポーツ少年団種目別スキー交流会が開催されました。

あいにく天候が崩れ、大回転競技2本制から1本制に変更されましたが、県内各地から190名の選手が参加され、交流が図られました。

矢島町関係の入賞者は次のとおりです。

○小学校

- | | |
|--------|------------|
| 1年男子5位 | 佐藤 康大(中山) |
| 〃 女子1位 | 佐藤かおり(八ツ杉) |
| 〃 〃 2位 | 佐藤穂奈美(御嶽) |
| 2年女子2位 | 土田 瑠美(新所) |
| 3年女子4位 | 真坂 麗(小田) |
| 4年男子5位 | 高橋 知樹(水上) |
| 〃 女子4位 | 佐藤さゆり(八ツ杉) |
| 5年女子6位 | 大井 都(栄町) |

○中学校

- | | |
|--------|-----------|
| 1年男子5位 | 高橋 賢樹(水上) |
|--------|-----------|

小学校での思い出に 卒業記念「お茶会」

1月29・30日の2日間、矢島小学校6年生の児童76人が、矢島町歴史交流館「道益苑」において、卒業記念のお茶会を行いました。

これは、お茶会を通して日本の伝統文化を知り、自分を見つめなおし、人を思いやる心をやしなうことを目的に行なわれたものです。

6年生はお茶会が初めてとあってかなり緊張していた様子でしたが、さすが卒業を控えた6年生。先生方の指導のもと、見よう見真似の作法でも、とても様になっておりました。(現在は、保育園児からお茶会を体験できますが、小学校在生中では、4年生までしか経験していないとのことでした。)

子供たちは、おいしく頂戴したお茶に、おじぎをしながら「大変結構でした。」と言っておりました。

最後に、指導してくださった先生から「中学校へ行って、何事にも一生懸命がんばってください」とエールをいただいております。



初めてお茶会を体験する6年生

中山間地域等直接支払制度について

前回まで、シリーズで紹介した中山間地域等直接支払制度ですが、平成14年度中山間地域等直接支払制度協定締結予定の集落は、6月末日が申し込み期限になります。それ以降は、次年度扱いになりますので期日までに申請して下さい。

また、申し込みについては、

面積要件、傾斜要件、農業振興地域の農用地区域の農用地要件を満たす対象地で、集落協定での共同取り組み活動を行うなど、いくつか要件がありますので、事前に農林課農政係までお問い合わせ下さい。必要があれば、集落協定についての説明会にも応じます。

建築物防災週間

3月1日(金)～3月7日(木)

住民皆様が安心できる建築環境をつくるためには、住宅などの安全性・防災対策に対する一人ひとりの理解が欠かせません。

この週間をきっかけに、皆様の住宅や身近な建築物の防災に関心を寄せてみて下さい。

期間中、県では次のような取り組みを行います。

- 1 県内各建設事務所建築課内及び(財)秋田県建築住宅センター内に建築物防災相談所を開設し、建築物の防災診断・改修に関する相談をお受けします。
- 2 不特定多数の方が利用する建築物を中心に防災査察を実施し、維持管理の不適切な建築物や防災対策の不備な建築物に対して防災指導等を実施します。

「合併出前講座」のお知らせ

これからのまちづくりで市町村合併が必要か、地域のみなさんと議論し、理解していただくため、県の担当職員がみなさんの所に出向いて「合併出前講座」を開催します。

お気軽にお申し込みください。

- 主催 地域の団体、民間団体など
- 日時 主催団体が希望する日時としますが、平日の午前9時～午後8時までの2時間程度を原則とします。
- 会場 主催団体の方で確保してください
- 出席者 概ね20人以上



<お問合せ・申し込み先>

秋田県由利地方部県民室地域振興班

TEL 0184-22-5431

秋田県市町村課調整・企画振興班

TEL 018-860-1146

みんなの善意

◎社会福祉法人矢島町社会福祉協議会

次の皆様から社会福祉事業のため役立てて下さいとして寄付金を寄託されました。厚くお礼申し上げます。

○小坂、三浦 昇様(御母)

堂スエノ氏香典返し)

○矢島町、竹村 寛様(御母)

堂ツネノ氏香典返し)

○上新荘、佐藤ナミ様(御主人 良介氏香典返し)

○田中、秋山信義様(御子)

息智和氏香典返し)

○金ヶ沢、佐藤良美様(御尊)

父良太郎氏香典返し)

【訂正とお詫び】

2月号11ページのみんなの善意で、城新、真坂良二様(御令室)が(御母堂)の誤りでした。訂正してお詫び致します。

活躍の記録

第11回ダブルス卓球選手権大会 2月3日(日)

1部 第3位

三浦 雄大(新町)

金子 悠太(坂之下)

1部 第4位

小番 謙(新町)

三浦 公貴(新町)

1部は152ペアの参加

防災知識

知っていますか?

日本海中部地震や阪神淡路大震災等の大規模災害に備え、秋田県では、2万8千人分を目標に生活物資の備蓄を進めています。

しかし、被災直後から必要になる

○非常用の食糧、保存水等

○懐中電灯等の避難用具

については、ご家庭で備蓄しておくよう日頃から心掛けておきましょう。

“こちら情報センター”

今年度のIT講習まもなく終了!!

町では、情報技術の活用普及を図るため昨年2月から17回にわたりIT講習会を開催してきました。受講状況も240人を超える受講者がおり、町民皆様の関心の高さがうかがわれました。



今年度のIT講習会も3月1日で終了します。来年度においても、回数が少ないもののIT講習会を実施する予定です。国で進めるe-japan戦略等で社会全体がIT化の方向に向かっています。今後益々、パソコンやインターネットを利活用する機会が増大することと思います。是非、機会を見つけてパソコンに触れて操作の仕方を習得してみたいかがでしょうか。

また、受講を機にパソコンを購入し、不慣れながらもパソコンを使いこなそうと頑張っている方も多くいることと思われます。しかし、昔より簡単になったといわれるパソコンの操作も付属の解説書を読んでも横文字や専門用語が多く入っており、初心者にはなかなか理解しがたいものとなっています。パソコンの操作に詳しい人が近くにいれば気軽に聞くこともできますが、なかなかいないのが現状ではないでしょうか。

パソコンのことでお悩みの方に役場企画情報係でもパソコン相談を受付しますのでお気軽にご連絡ください。(55-4952 担当 泉谷・滝野)

テレビ電話今月の配信予定

3月5～14日 町定例議会

3月15日 小学校卒業式

3月16日 中学校卒業式

TV電話ビデオ・オン・デマンド装置

下記電話番号にダイヤルすることにより各種情報を見ることができます。

行政・福祉情報 29-5020

観光・イベント情報 29-5021

公共施設予約状況 29-5032

ホームページアドレス

<http://www.town.yashima.akita.jp>

メール

kikaku@town.yashima.akita.jp

やまめ二月例会

立春の恵みあまねく日和かな

佐藤 勝男

雪まつりひしめく中のひとり旅

齋藤 茂

立春や軒の雫がリズム打つ

金子 京子

立春の文字が嬉しく書いてみる

佐藤木の実

老いて尚凛と有り度し寒椿

佐藤柳四郎

出来栄えを誇るや杜氏蔵の春

鞍馬 賢治
冬日差し子のしてくれる耳掃除

佐藤真都子
ザラメ雪スコップ掬う陽の光り

佐藤トキ女
鳥海の曇くつきりと春隣

佐藤アヤ子
雪水の流れて池にひそむ鯉

正木 禮子
銀世界山の湯つこに春来たる

齋藤 瑞
夜の静寂鼻の先より冴え返る

北島やす雄
過ぎたる日々を惜しと思いき

佐藤千賀子
懸賞に当りしピールの券などを

子等に送るもわれの倅せ
困わるるつつじが葉裏にひっそ

りと唯一輪の二度咲きを見す
もみじ濃き湖畔の宿の夜の宴

朗々とひびく友の吟詠
今にして日米開戦の報知るは北

支の夜戦に行動の中
発語せぬ衰弱の老を巡回なし消

え入りそうな息を確かむ
講師詠 藤田 嘉樹

枯れたるは枯れたるままに枯れ
萱は軽き音立て風に吹かるる

木村太一郎
佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

佐藤アヤ子
金子 京子

第三二一回

矢島短歌会師走例会

講師選歌 藤田嘉樹

浅き夢うち砕くがの響もて家内
震わせ雪滑落す

金子 四郎

小走りに馳け出す癖のありして

富田 かよ

と転びし後によく気付く

かよ

夜半に打つ雲の音は静寂に浸れ

茂木 富子

るわれの耳にはづめり

富子

うす蒼き東の山の雪あかり展き

富子

て今日の太陽昇る

佐藤 トキ

母を短歌に詠みて偲びぬ幼き日

トキ

わが名よびつつ逝きにし母を

トキ

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

講師詠 藤田 嘉樹

ほけんだより

◆◆◆心の健康管理をしていますか◆◆◆

社会情勢の変化やあふれる情報、複雑なコンピュータ操作…。次々と押し寄せるストレスの波により、多くの人々がこころの悲鳴をあげています。

ストレス状態が続き、疲労回復の機会を取らないでいると、うつ病や神経症などのこころの病を引き起こしやすくなります。

特に、うつ病は「こころのカゼ」と呼ばれるくらい一般的な病気で、一生の間に一度うつ病になったという人は女性で10〜15%、男性で5〜12%

といわれています。専門医にかからないうちに、本人が気付かないまま自然に治っている事もあるようです。すっきりしない事があつたら、鼻から大きく息を吸ってお腹に溜め、吸うのにかかった3倍かけてゆっくり吐く。

これをしばらく繰り返すだけで、こころの余裕が生まれてきます。自分なりのこころのリラックス方を見つけてみてはいかがでしょうか。

STRESSでストレスを予防しましょう

S T R E S

Sport 運動

適度な運動は心も体も快活にします。



Travel 旅行

隣の町を歩いたり、ハイキングに行くだけでも気分転換に。



Recreation

レクリエーション

自分にとって楽しいことを実行しましょう。



Eating 食事

1日3回、その時の体調に合わせた食事をしましょう。



Sleep 睡眠

12時前には寝床に入り、十分な睡眠を。



Smile 笑顔

笑顔は人間関係を円滑にするだけでなく、体の免疫をも活性化します。



《相談・健診》

◎なんでも健康相談

日時 3月26日(火)
午前9時30分～11時30分

場所 保健センター

※健康に関する相談、体脂肪率や血圧測定、赤ちゃんの計測など実施しています。お気軽にいらして下さい。

◎乳児健診

日時 3月26日(火) 午後1時

場所 保健センター

対象 平成13年3・5・8・11月生
(持参するもの)

母子手帳、記入したアンケート用紙、バスタオル

※11月生の方は健康相談票を持ってきて下さい。

《予防接種》

◎風疹(要予約)

※下記のうち希望される医院で接種して下さい。

月日・場所

3月6日(水) 木村医院

3月11日(月) 佐藤医院

3月19日(火) 大井医院

時間 午後1時30分～2時

対象 平成12年12月以前生で麻疹接種済の幼児

※記入した予診票と母子手帳を持参して下さい。

※接種希望日の1週間位前までに各医療機関に予約の電話をお願いします。

年 金 コ ー ナ ー



国民年金 Q&A こんなときどうするの？

〈こんなとき (Q)〉	〈どうする (A)〉	〈届出先〉
● 20歳になったとき	➔ 厚生年金・共済組合加入者以外は国民年金に加入の手続き	➔ 役 場
● 会社を退職したとき	➔ 国民年金に加入の手続き (被扶養配偶者も同様)	➔ 役 場
● 結婚や退職等で配偶者の扶養になったとき	➔ 第3号被保険者への種別変更	➔ 勤務先
● 配偶者の扶養からはずされたとき	➔ 第3号被保険者から第1号被保険者への種別変更	➔ 役 場
● 配偶者が会社をかわったとき	➔ 第3号被保険者手続き	➔ 勤務先
● 年金手帳をなくしたとき	➔ 再交付の手続き	➔ 役場・勤務先

お問い合わせ先 生活・環境課 住民係 TEL 5 5 - 4 9 5 9

献血(全血) 車来町

左記日程で献血車が来町します。
今回は、血液中の全ての成分を献血していただく全血ですので、受付終了まで約15〜20分の時間が必要です。例年、1月〜4月が最も血液が不足する時期ですので、皆様のご協力よろしくお願致します。

月日 3月5日(火)
時間・場所

午前10時〜12時 矢島町役場前
午後1時〜2時 矢島小林工業前

〃 2時20分〜3時20分

TDK | ACC 矢島工場前

〃 3時30分〜4時 矢島消防署前

献血Q&A

Q 献血の際に病気をうつされる事はないのですか？

A 献血に使用する針などの採血キットは、すべて滅菌済みの新品で一度しか使いませんので、病気が感染する心配は全くありません。安心してご協力いただけます。

Q ピアスをしていると献血できませんか？

A ピアスの穴をあけた場所から各種ウイルスなどの感染が懸念されるため、医療機関であけた場合、少なくとも1ヶ月はお断りしています。

健診・予防接種の日程は矢島町のホームページ(福祉保健課健康増進係)・iモードでも御覧いただけます。
《ホームページアドレス》
<http://www.town.yashima.akita.jp/>
《iモードアドレス》
<http://www.town.yashima.akita.jp/fukusi/fukusi/imodo.html>

☆お問い合わせ先 福祉保健課健康増進係 TEL 5 5 - 4 9 6 0

矢島町功労者

訃報

※自治功労(平成六年)
佐藤 良太郎 氏

(金ヶ沢)
ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り致します。

情報ひろば -Information-



募集

アグリファーム

「ふれあい農園」

耕作希望者募集

町では、県立矢島高等学校の針ヶ岡旧農場跡地利用として、中山間地域総合整備事業で非農家を対象とした家庭菜園を整備し耕作者を募集しております。

非農家で希望の方は是非申し込み下さい。

▼募集人数 40名

▼区画の大きさ 標準区画一区画50㎡(約15坪)

▼貸出し料金 1㎡当たり年間60円。標準区画で年間3,000円

▼貸出し期間 平成14年4月1日より

一年間(更新は妨げない)

▼申し込み資格 ◎非農家の人

(農地面積が10a未満の人) ◎矢島町に住民登録している人

▼募集期間

3月15日まで

▼申込先 農林課整備係まで (TEL 55-4956)

お知らせ

教職員送別会のご案内

年度末の定期異動に伴う教職員の送別会を次により開催します。

▼日時 3月28日(木)

午後3時より

▼場所 日新館ホール

▼会費 2,500円

▼参加申込 3月25日まで学校教育課(TEL 56-2204)へ

ふると就職ガイダンス

大学等の卒業予定者を対象にした就職ガイダンスを開催します。

▼日時 3月19日(火)

午後1時～5時

▼場所 秋田ビューホテル

(秋田市)

▼お問合せ先 秋田県雇用対策室

TEL 018-860-2334

申請窓口変更のお知らせ

精神保健福祉法の改正により平成14年4月1日から、精神障害者に関する申請窓口が、今までの本荘保健所(健康福祉センター)から矢島町役場へ変更されます。

●窓口が変更になるもの

・精神障害者保健福祉手帳の申請

・精神障害者通院医療費公費負担の申請

4月1日以降に申請される方は、福祉保健課の窓口へ書類を提出して下さい。

また、精神障害者居宅生活支援事業(ホームヘルプサービス等)の利用に関する相談等も行ないますのでお気軽にご相談下さい。

※相談・お問合せ先

矢島町役場福祉保健課 (TEL 55-4960)

奨学資金貸与

町では、経済的な理由により就学が困難な方々に対して奨学資金を貸与します。

▼貸与対象

矢島町民の子弟であること
学業成績が優良で、品行方正であること。
学資の支弁が困難な状態にある者。

▼貸与金額

★大学、短大、専修学校 月額5万円以内

★国立高専 前期3年 月額2万円以内
後期2年 月額5万円以内

★高校 月額2万円以内

▼貸与条件

利率 無利子
期間 正規の修学期間
選考方法 選考委員会で決定

▼申込 3月15日～3月29日まで学校教育課へ提出して下さい。

▼お問い合わせ先(書類提出等) 学校教育課まで (TEL 56-2204)

※矢島町緊急雇用対策本部職者支援対策の奨学資金についても随時受付しております。

講習会・講演会

危険物取扱者試験について

▼試験の種類 丙・乙・甲種の全種類

▼受験者の範囲 一般、高校生対象

▼試験期日 4月21日(日)

▼試験会場 秋田経済法科大学

由利工業高等学校 他

▼願書受付期間 3月11日～22日

※詳細については 矢島地区消防組合消防署まで

「縄文ゆとり工房・あきた県民カレッジ」公開講演会

▼日時 3月9日(土)

午後1時20分より

▼場所 秋田県生涯学習センター(秋田市)

▼講師 菊地正浩氏 (NHKプロデューサー)

「日本人と東北人のルーツを訪ねて」

▼受講料 無料

▼お問合せ先

生涯学習センター学習推進班 TEL 018-865-1171

融雪水害に伴う留意について

矢島町では例年になく大雪のため豪雪対策本部を設置いたしております。3月に入り降雪量も少なくなると思われますが、気温の上昇、降雨に伴い融雪水害が心配されます。つきましては次のことに留意され、事故のないようお願いします。

○小河川が屋根雪などで埋もれている箇所は、流水断面を確保しましょう。

○大雨降水が予想される場合は、流雪溝の切り換えを早めに行いましょう。

ご近所情報

オコジヨの森の雪まつり

(鳥海町)

- ▼日時 3月23日(土) 午前11時〜7時
- ▼場所 鳥海オコジヨランド スキー場
- ▼内容 ヒップスキー選手権やスノーモービル無料試乗会、雪中宝探し、雪合戦等。
- ※鳥海オコジヨランドスキー場 (TEL 58-2932) まで

第3回「鴻の松風」新酒、吟醸酒販売発表会(象潟町)

- ▼日時 3月20日(水) 午後6時より
- ▼場所 ねむの丘
- ▼内容 新酒・吟醸酒の販売や、酒田市出身の演歌歌手「桜井けい」歌謡ショー。
- ▼参加費 2,000円 (料理つき)
- ※申し込みは、ねむの丘 (TEL 32-5588) まで

暮らしのワンポイント

防虫剤は収納ケースや引き出しの四隅、衣類の間、上に置きます。防虫剤が気化したガスは空気より重いので、上部に少し多めに置くと効果があります。



スキー場無料送迎バス時刻表

	午前	午後
矢島駅前発	9:00	4:00
スキー場着	9:20	4:20
スキー場発	9:30	4:30
矢島駅前着	9:50	4:50

3月の運行日(学校休校日に運行します。)

3日(日)、9日(土)、10日(日)
17日(日)、21~31日

ゴミについて

現在、矢島町は鳥海町と2町で不燃ゴミを埋め立てる最終処分場を建設中です。この処分場は15年間使用可能な計画ですが、出来るだけ長く使用するため平成14年4月より次のように変更しますのでよろしくお願い致します。

●不燃ゴミ

不燃ゴミとして出すゴミの大きさの目安は25cm×25cm×15cm位(一斗缶の1/3)までとし、それより大きいゴミは粗大ゴミとして出して下さい。

★粗大ゴミの収集は、

4月・6月・8月・10月・12月の第1日曜日です。

★粗大ゴミの直接搬入

粗大ゴミを収集しない5月、7月、9月、11月の第1火曜日を粗大ゴミの直接搬入日とします。(収集日程表をご覧ください。)

▼搬入場所 新所の処分場跡地

▼搬入時間 午前9時〜午後4時

※搬入する時は、搬入時間を守り係員の指示に従って搬入して下さい。

※古紙は、新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パックに分別し、必ず紙ひもを使用して束ねて下さい。

うちなーの風

沖縄少女舞踏集団

「花やから」矢島公演

この度、テレビ「なんでも鑑定団」やCMで活躍中の沖縄伝統芸能を明るく元気一杯に舞う、沖縄少女舞踏集団「花やから」の矢島公演が行われますのでご覧ください。

日時 平成14年4月4日(木) 午後6時30分〜
会場 矢島町日新館
入場料金 3,000円
主催 「花やから」矢島町講演実行委員会
松下 誠(金ヶ沢)
問い合わせ TEL 56-2754